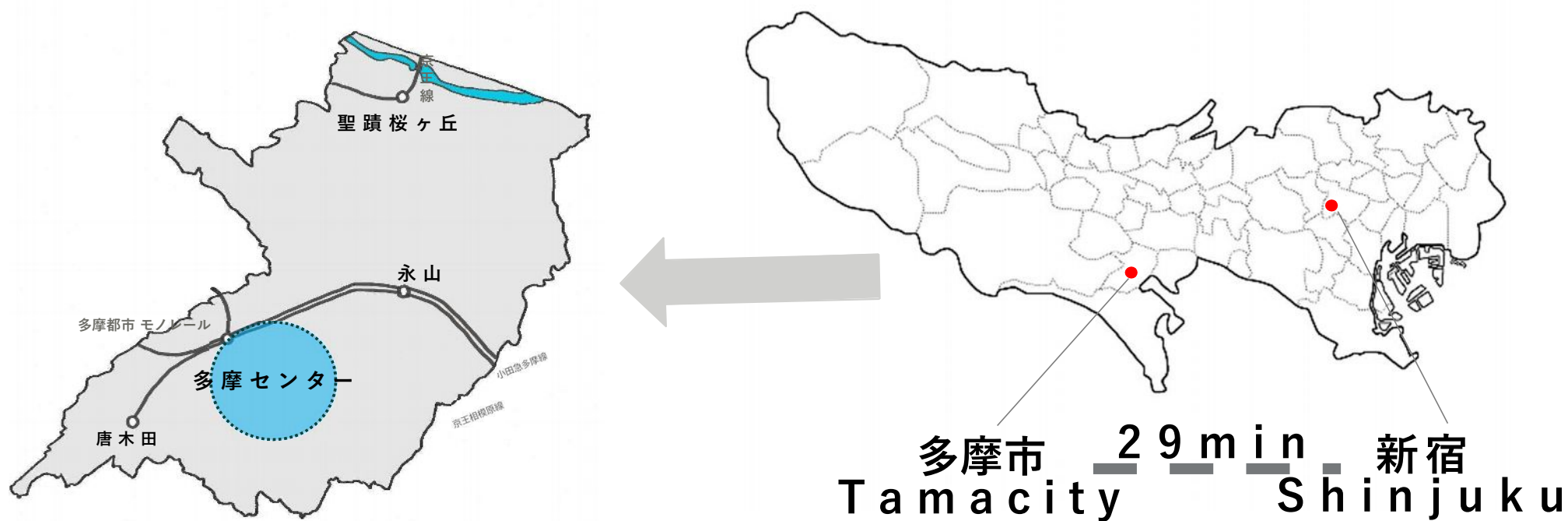


多摩センターの未来を描く 活動状況報告

2025年3月

市民経済部経済観光課

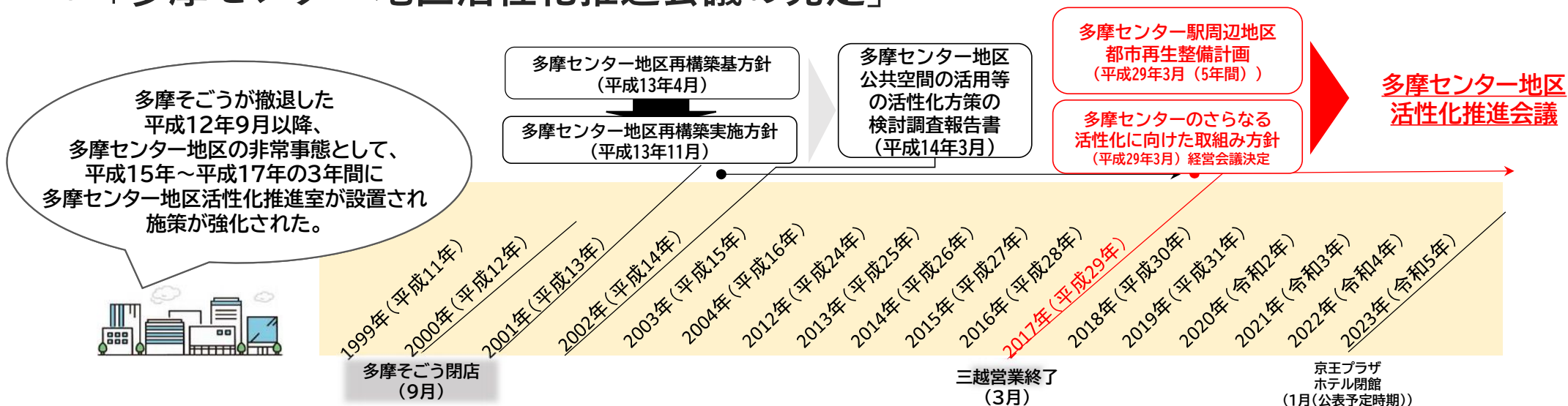
多摩センターとは？



職住近接型の多機能複合型都市を目指したベッドタウン

多摩センター地区活性化のはじまり

- 「開発の終了と商業施設の撤退」
- 「公共施設の大規模改修に活性化をセットで決議」
- 「多摩センター地区活性化推進会議の発足」



地域課題 つかいたくなるまちを目指して 「まちづかい」

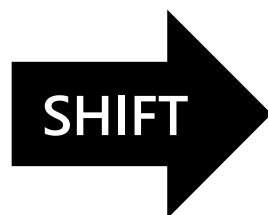
○開発から数十年が経過した現在、社会変化に応じて使い方の想定・前提も変化し、使われない空間（スペース）も生まれている。

○10年～20年後を見据え、今ある遊歩道や施設を誰が、どのような使い、多摩センターでどのように過ごしたいか？

なにをつくればいい？
なにをなせばいい？



主体：行政・開発事業主
市民の意見を聞きながら



どうやって楽しめるか？
自分たちで何ができるか？



主体：市民や事業者、来訪者
主体の声にこたえる行政・開発事業主

どうやって使おうか？
どうやって過ごしたいか？

<多摩センター三角広場>

石造りのステージがあり、以前はコンサートなども行われていた。駅から少し離れていることもあり、フリーマーケットで使われる以外はあまり活用されていない。



<パルテノン大通り>

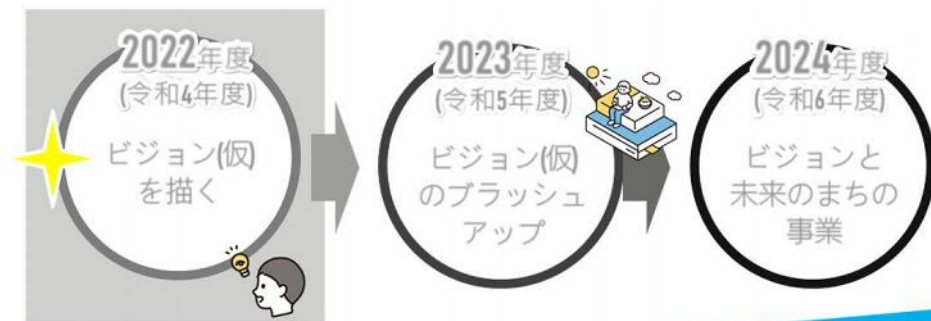
多摩センター駅から南にのびる主要導線であるが、十字路南側はイベント時以外は人通りも少なく、活用ができていない。道路である占用主体も行政と一部の団体に限られている。



課題解決策



○多摩ラボとリーディングプロジェクト
多摩センター地区の公共施設がリニューアルを進めている中で「多様なやりたい」を活性化させるため、活動拠点（多摩ラボ）を地域の主体者のプラットフォームとし、地域の主体者が中心となってまちをつかうこと（実証実験）で視えたまちの課題を抽出し、今後のまちづくりへと反映させていく。



人間資本の構築

課題解決策

○多摩ラボ（活動拠点）の創出

誰もが気軽に多摩センターのまちづかいについて話し合える場を創出し、つながった「主体者（将来主体的にイベントを実施する可能性のあるプレイヤー）」やそのつながりを中心に住民巻き込みを図った。

多摩ラボ活動



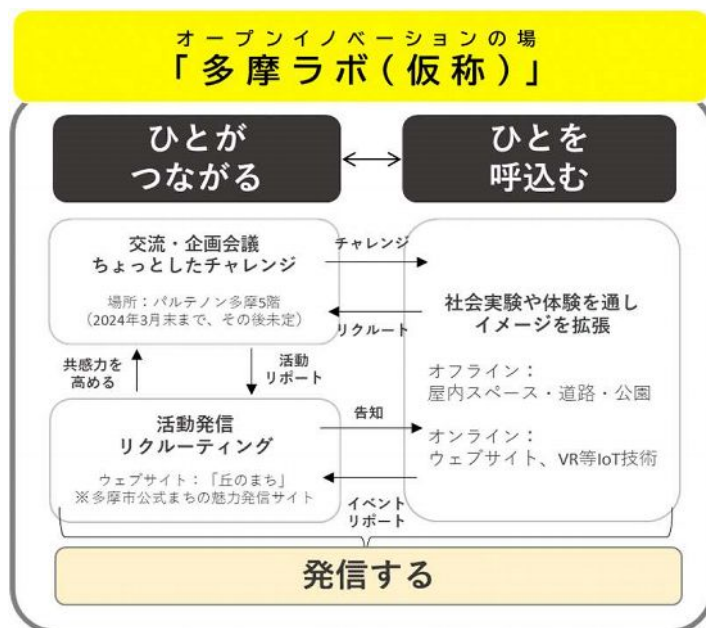
多摩ラボ（活動拠点）



**オフ
ライン**
リアルな場を活用

**オン
ライン**
デジタルを活用

オンライン拠点



- ①誰でも“まちづかい”をチャレンジできる場としての（各種申請が簡易な）植栽ます
②地域主体が連携し実施可否が不透明な実証実験に挑戦するリーディングプロジェクト

まちづかい オープン カフェ

概要

若者のやりたいを後押しし、共に活動する多摩市若者会議。「まちづかい」の経験が豊富なが、多摩センターや広の公民館に定期的に協力を申し、やりたい（活動）にマッチングできる方々と対話する「まちづかいオープンカフェ」を11月23日に実施しました。このカフェでは、「やってみたいことを教えてくれた人にコーヒーを取り組みチャレンジ。コーヒーをききに、まちの人の声を集める新しい取り組みチャレンジ。

主 体	多摩市若者会議
協賛者	多摩市役所
期 間	2023年3月11日
場 所	バルテノン大通り
申 請	道路使用許可：多摩中央警察署、道路占用許可：多摩市役所、 自転車歩行者専用道路通行許可：多摩市役所
主な設備・道具	キッチンカー、ガスボンベ、コーヒースト、テーブルイス、パネル、 案内看板



屋台 ビール販売

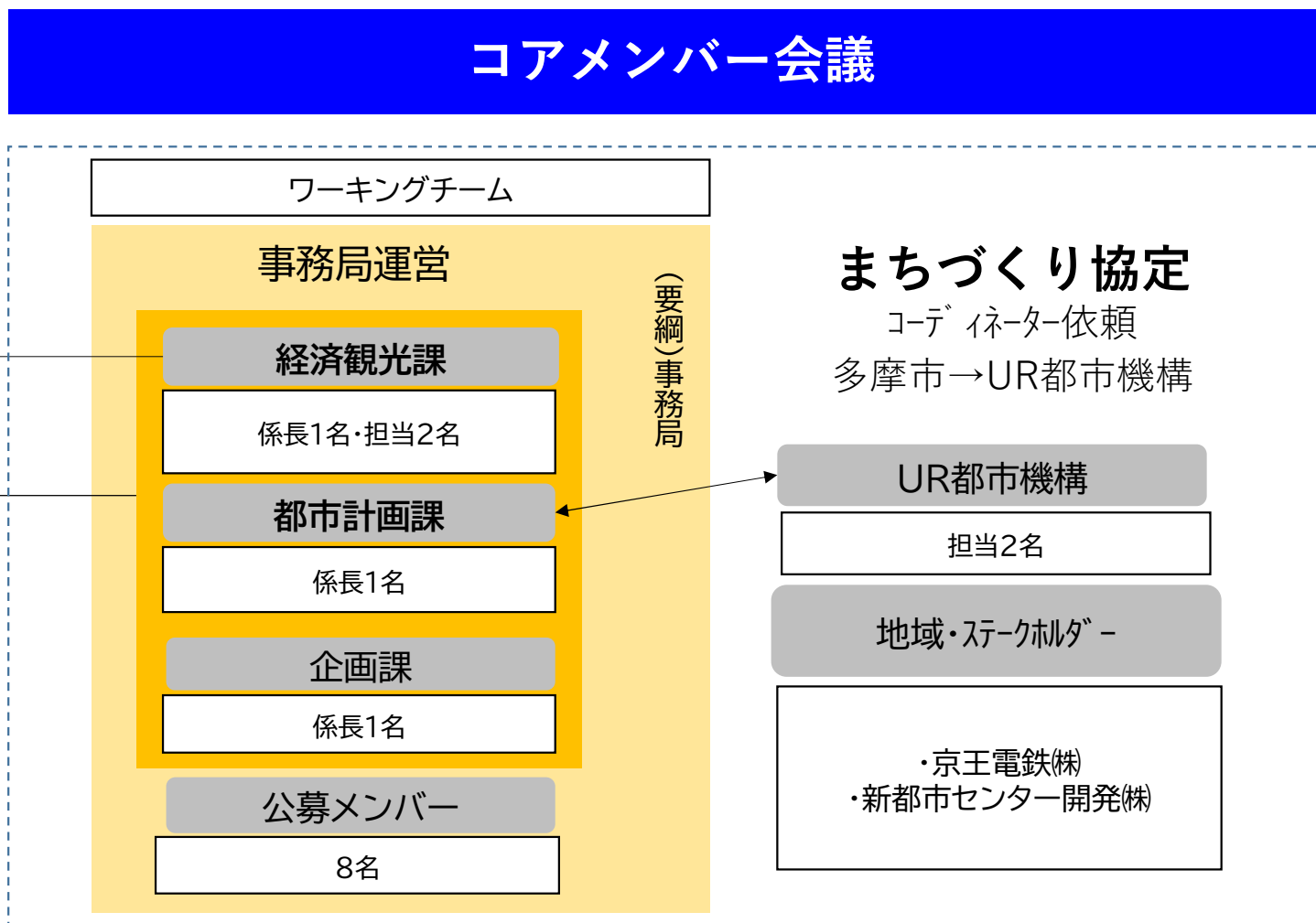
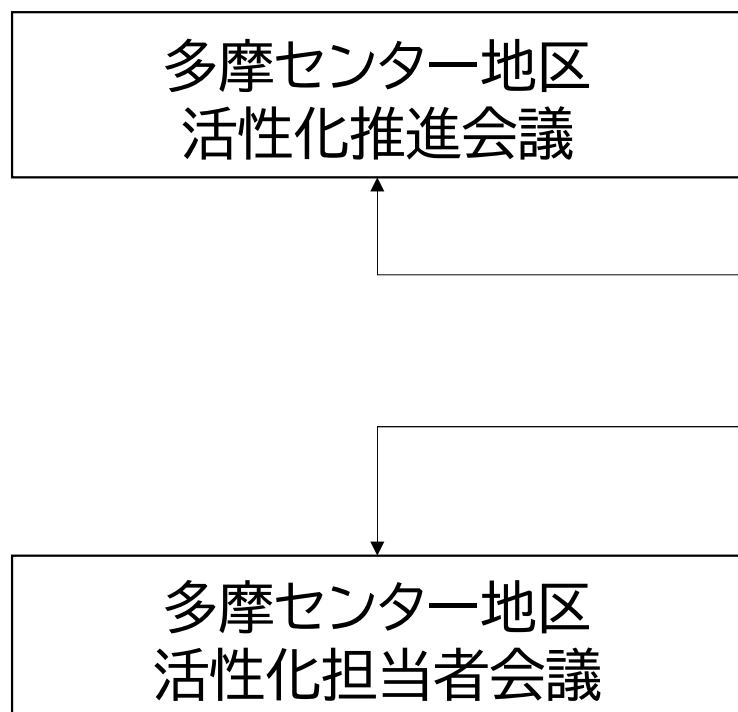
概要

「やりたいを何にしよう」と、まちづかいのワークショップで挙げられた大人の声から「夜のお酒の販売をやりたい」と生まれた企画。街に大人がリアルに集いやりたいを実現できるような「タマリ」をつくりたい。まずは自分たちから動き出そうと近隣在住の大人たち有志が集まり、ビールを販売して飲める場づくりを始めた。

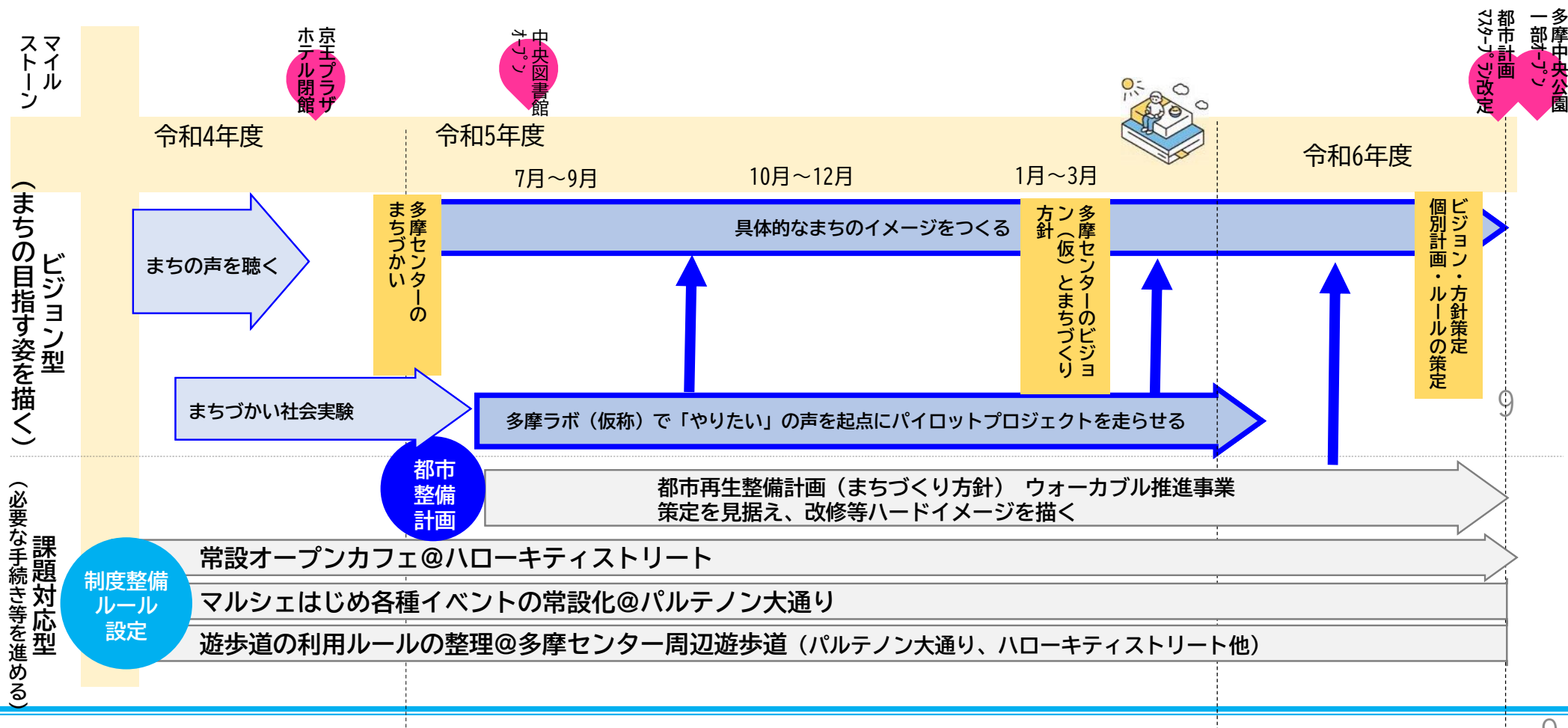
主 体	多摩センター近隣在住の有志グループ
協力者	多摩市役所
期 間	2024年3月13:00～16:00
場 所	バルテノン大通り、植栽マス
申 請	道路占用許可：多摩市役所、行事開催届、臨時出店届：南多摩保健所
主な設備・道具	テント、クーラーボックス、手洗い設備、音響設備、机、いす



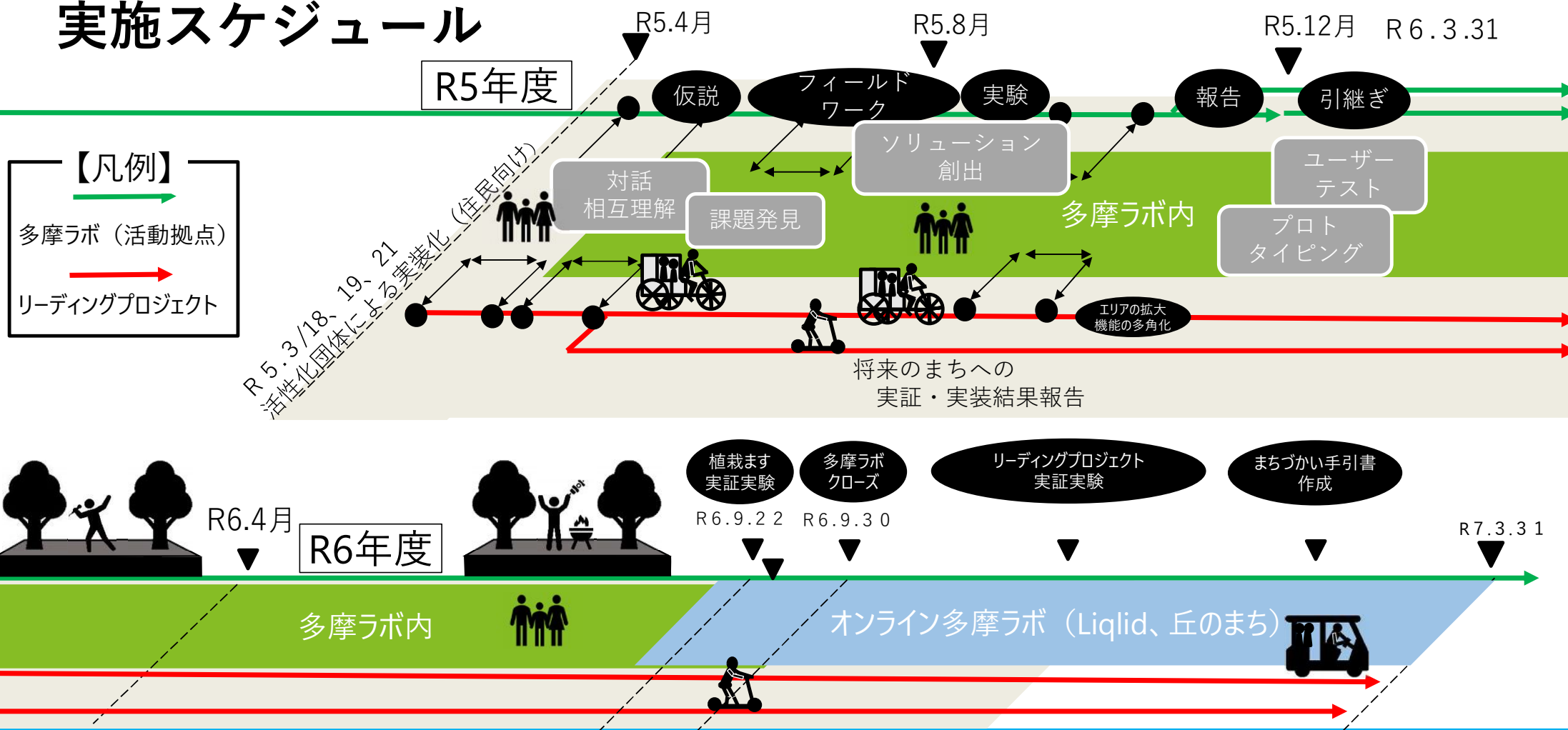
実施体制



実施スケジュール



実施スケジュール



計画段階

○多摩ラボ（活動拠点）を通じた地域課題の抽出・整理

幅広い属性の住民意見を収集できるよう、リビングラボにて様々なイベントを実施し、多種多様な住民意見をまちづかいの観点から体系的に整理した。



対面で協議する場を設定することにより、主体者間での関係構築の図り議論を深化させた。



実行段階

○多摩ラボやイベントを通じた住民・企業との連携

「主体者」の意識段階におけるセグメンテーション【対話・参加・参画・キーパーソン】

対話：多摩センターでの社会実験やワークショップに興味を持つ人

参加：多摩センターでの社会実験やワークショップに参加する人

参画：多摩センターでの社会実験やワークショップを通して企画の実施に関わる人

キーパーソン（主体）：やってみたいまちづかい企画書を使用して
企画を提案・実施する人



キーパーソン
（主体）

参画

参加

対話

【「主体者」の意識段階のステップアップ】

実行段階

多摩ラボ

やりたい声をあつめる

machizukai yaritai koto mooshuu!!

WAKUWAKU PROJECT

最近、バカになれてない、
そのあなた!!

多摩ラボは、多摩センターでやりたいことのチャレンジを後押しする場です。
地域にとらわれない、さくばらんな(フラット)会話、市内外の市民・企業・団体などの交流や出会い、多摩センターがわくわくする街になる「まちづかい」を応援し、一緒に未来に向けて走り進んでいきます。

多摩ラボは、多摩センターでやりたいことのチャレンジを後押しする場です。
地域にとらわれない、さくばらんな(フラット)会話、市内外の市民・企業・団体などの交流や出会い、多摩センターがわくわくする街になる「まちづかい」を応援し、一緒に未来に向けて走り進んでいきます。

多摩ラボは、多摩センターでやりたいことのチャレンジを後押しする場です。
地域にとらわれない、さくばらんな(フラット)会話、市内外の市民・企業・団体などの交流や出会い、多摩センターがわくわくする街になる「まちづかい」を応援し、一緒に未来に向けて走り進んでいきます。

machizukai yaritai koto mooshuu!!

WAKUWAKU PROJECT

最近、バカになれてない、
そのあなた!!

多摩ラボは、多摩センターでやりたいことのチャレンジを後押しする場です。
地域にとらわれない、さくばらんな(フラット)会話、市内外の市民・企業・団体などの交流や出会い、多摩センターがわくわくする街になる「まちづかい」を応援し、一緒に未来に向けて走り進んでいきます。

多摩ラボは、多摩センターでやりたいことのチャレンジを後押しする場です。
地域にとらわれない、さくばらんな(フラット)会話、市内外の市民・企業・団体などの交流や出会い、多摩センターがわくわくする街になる「まちづかい」を応援し、一緒に未来に向けて走り進んでいきます。

多摩ラボは、多摩センターでやりたいことのチャレンジを後押しする場です。
地域にとらわれない、さくばらんな(フラット)会話、市内外の市民・企業・団体などの交流や出会い、多摩センターがわくわくする街になる「まちづかい」を応援し、一緒に未来に向けて走り進んでいきます。

まちづかい企画書

machizukai yaritai koto mooshuu!! Vol.1

多摩ラボは、「まちづかい」を活性化するため、多摩センターでやりたいことのチャレンジを後押しする場です。属性にとらわれない、さくばらんな(フラット)会話、市内外の市民・企業・団体などの交流や出会い、社会実験の企画相談、実際のチャレンジなど、多摩センターで「やりたい」を応援する“場”です。

やりたいこと企画書

申請者氏名 _____ (個人 or 団体)

代表者氏名 _____

電話番号 _____ メール _____

1 企画内容を実行するにあたり、必要なこと、当てはまるものに ☒ をいれてください。

☐ 飲食の提供 ☐ 物販・販売 ☐ 火気の使用 ☐ 水・電気の使用 ☐ 公共空間の利用

☐ 音響設備の使用 ☐ 什物の搬入・設置 ☐ 歩行者用道路への車両の進入 ☐ その他 _____

2 企画の具体的な内容について記入欄に記載してください。

期間 _____ 対象人数 _____

具体的な内容 _____

3 意図・理由を記載してください。 4 実施したいエリアを圈んでください。

なぜ、やりたいのか... _____

記入ありがとうございます。後日、担当者よりご連絡させていただきます。
また、本企画書に添えて、別途資料等を通知でご提出いただくことも可能です。

(問い合わせ先) 多摩センターまちづくりプロジェクト事務局 多摩情報課課長 042-338-6430

取組成果

○ 現時点での取組成果

多摩ラボ（活動拠点）を通じて以下のようなリーディングプロジェクトを組成した

まちなか 期末テスト



概要

「地域探究学習」授業の期末テストとして、まちなかで街の方に向けたプレゼン形式の発表を実施し、街の方に採点してもらう。大人やまちの人と接点を持ちたいという高校生発案のまちづかいの企画。市内探索や住民インタビューなど、多くの大人とのディスカッションを通じて、地域が抱える課題発見とその解消に向けたアイデアを提案した。昨年実施し好評だったことから、今年度も継続して2度目の開催をした。

主 体	多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校（学校・生徒・教師）		
協力者	多摩市役所	対象数	約500名
時 期	2023年12月（第2回）13:00～15:00		
場 所	パルテノン大通り		
申 請	道路使用許可：多摩中央警察署、道路占用許可：多摩市役所		
主な設備・道具	展示パネル、重り、受付テント、記入用紙		

まちづかい オープン カフェ



概要

若者のやりたいを後押しし、共に活動する多摩市若者会議。「まちづかい」の経験豊富な彼らが、多摩センターの広い公共空間に魅力を感じ、やりたい（活動）に共感してくれるまちの人と対話する「まちづかいオープンカフェ」を11月23日に実施しました。このカフェでは、「やってみたいこと」を教えてくださいの人にコーヒーをプレゼント。コーヒーをきっかけに、まちの人たちの声を集める新しい取り組みチャレンジ。

主 体	多摩市若者会議		
協力者	多摩市役所	対象数	約100名
時 期	2023年11月		
場 所	パルテノン大通り		
申 請	道路使用許可：多摩中央警察署、道路占用許可：多摩市役所、自転車歩行者専用道路通行許可：多摩市役所		
主な設備・道具	キッチンカー、ガスボンベ、コーヒーセット、テーブルイスパネル、案内看板		

あおぞらフェス



概要

「やりたいを形にしよう」と、まちづかいのワークショップで挙げられた高校生の声から「学生同士の交流を図りたい」と生まれた企画。高校生有志が発起人となり、中心となって高校の仲間や他校の生徒も引き入れて、合同の野外ライブを開催した。

主 体	市内高校生		
協力者	多摩市役所	対象数	約30名
時 期	2024年3月13:00～16:00		
場 所	パルテノン大通り、植栽マス		
申 請	道路占用許可：多摩市役所		
主な設備・道具	マイク、スピーカー、アンプ、ミキサー、ケーブル、電源設備、人工芝		

取組成果

○ 現時点での取組成果

多摩ラボ（活動拠点）を通じて以下のようなリーディングプロジェクトを組成した

屋台 ビール販売



概要

「やりたいを形にしよう」と、まちづかいのワークショップで挙げられた大人の声から”街でお酒の販売をしてみたい”と生まれた企画。街に大人がリアルに集いやりたいことを実現できるような「タマリ場」をつくりたい。まずは自分たちから動き出そうと近隣在住の大人たち有志が集まり、ビールを販売して飲める場づくりを始めた。

主 体	多摩センター近隣在住の有志グループ		
協力者	多摩市役所	対象数	約50名
時 期	2024年3月 13:00～16:00		
場 所	パルテノン大通り、植栽マス		
申 請	道路占用許可：多摩市役所、行事開催届・臨時出店届：南多摩保健所		
主な設備・道具	テント、クーラーボックス、手洗い設備、音響設備、机、いす		

こどもの アトリエ



概要

“子どもたちがアイデアを自由に形にする場所をつくりたい”と持ち込まれた企画。こどもアトリエ運営者が有志となり、多摩ラボ拠点にてこども向けのワークショップと、出来上がった作品の撮影会を実施した。

主 体	UMUMUMU、Small Museum		
協力者	多摩市役所	対象数	約10名
時 期	2024年11月		
場 所	パルテノン多摩5F（多摩ラボあじと）		
申 請	利用申請：多摩市役所		
主な設備・道具	水道、ワークショップに使用する備品		

まちづかい トーク



概要

多摩センターでの活動やこれからのことをテーマに、オープン形式でトークイベントを開催。大池前で実施したため人通りも多く、通りすがりに足を止めてくれるまちの人も多数見受けられた。今後の活動についても、話し合いの場を設けることを決定した。

主 体	多摩市役所（経済観光課）		
協力者	TAMAセントラルパークJV、多摩センター地区連絡協議会、東京ヴェルディ、無印良品、多摩大聖ヶ丘高校、多摩市若者会議、東京チェーンソーズ他		
対象数	約50名		
時 期	2024年3月 12:00～14:30		
場 所	多摩中央公園		
申 請	公園使用許可：多摩市役所（公園運営者）		
主な設備・道具	マイク・スピーカー、モニタ、人工芝、イス・テーブル・緑展示パネル、重り、看板		

取組成果

○ 現時点での取組成果

多摩ラボ（活動拠点）を通じて以下のようなリーディングプロジェクトを組成した

**パブリック
ビューイング**

イメージ

概要

民間・公共空間が一体的となった日常利用に向けた取組み事例の創出（短期）
まちをつかう民間ニーズを吸い上げ、公共空間を含めた民主導の持続可能な滞在空間の在り方について検証するとともに、今後のまちづくり計画の検討材料とする（長期）
これらの目的を背景に多摩センター地区の企業と連携し、パブリックビューイングを開催する。

主 体	多摩市役所（経済観光課）、都市計画課、多摩センター地区連絡協議会
協力者	株式会社JTS、株式会社読売巨人軍、株式会社多摩テレビ、ココリア多摩センター 等
時 期	2024年9月
対象数	約100名
場 所	パルテノン多摩5F（多摩ラボあじと）
申 請	利用申請：多摩市役所
主な設備・道具	水道、ワークショップに使用する備品

**植栽ます
社会実験**

概要

令和5年度に引き続き「やりたいを形にしよう」と、まちづかいのワークショップで挙げられた高校生・社会人の声から「学生同士の交流を図りたい」と生まれた企画。

主 体	市内高校生・多摩センター近隣在住の有志グループ等
協力者	多摩市役所
対象数	約30名
時 期	2024年9月
場 所	パルテノン大通り、植栽マス
申 請	道路占用許可：多摩市役所、行事開催届・臨時出店届：南多摩保健所
主な設備・道具	マイク、スピーカー、アンプ、ミキサー、ケーブル、電源設備、人工芝、テント、クーラーボックス、手洗い設備、音響設備、机、いす

取組成果

パブリックビューイング IN 多摩センター

実施日：2024年9月19日（木曜日）18時～21時

場 所：パルテノン大通り南側植栽帯及びココリア多摩センター

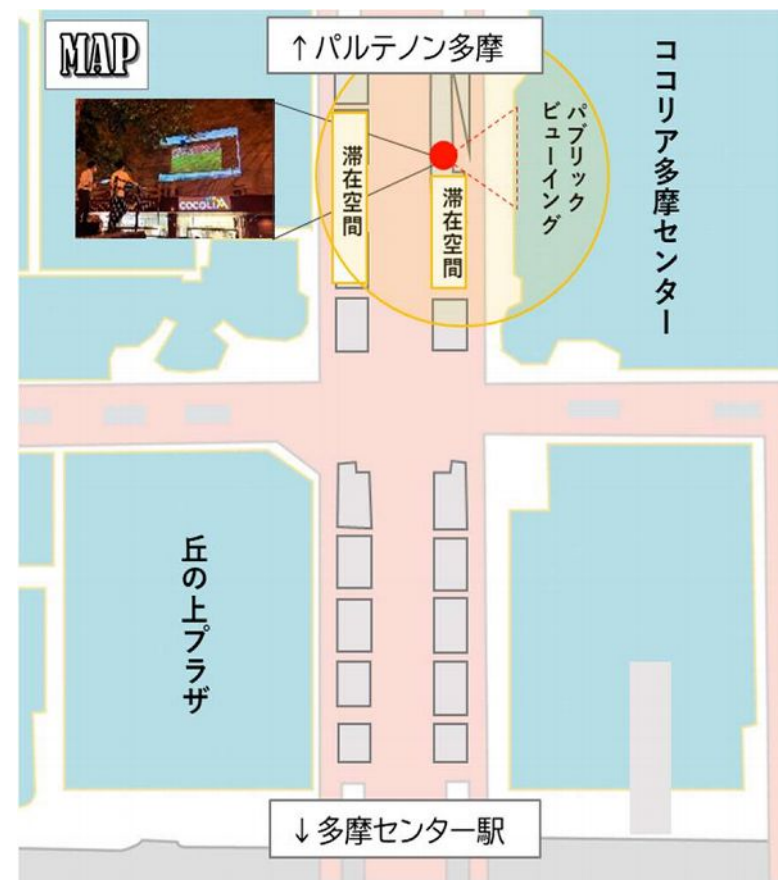
テーマ 民間施設・公共空間が連携した活性化

目的 民間・公共空間が一体的となった日常利用に向けた取組事例を創出し、まちをつかう民間のニーズを汲み取り、公共空間を含めた民間主導の持続可能な滞在空間の在り方を検証する。

開催概要 ココリア多摩センター東側・パルテノン大通り植栽帯のオープンスペースにおいて、プロ野球「読売ジャイアンツ×横浜DeNAベイスターズ戦」のパブリックビューイングを行い、多摩センターの民地と公共空間の一体的なつかい方や夜間の賑わい創出、オープン化について検証した。（来場者概ね800名）

共催 多摩市、多摩センター地区連絡協議会

協力 (株)読売巨人軍、(株)日テレイブンズ、(株)よみうりランド、(株)ジェイティーエス、(株)多摩テレビ、多摩セントラルパークJV、ココリア多摩センター



パブリックビューイング IN 多摩センター

実施日：2024年9月19日（木曜日）18時～21時

場 所：パルテノン大通り南側植栽帯及びココリア多摩センター

目的：民間・公共空間が一体的となった日常利用に向けた取組み事例の創出（短期）

まちをつかう民間ニーズを吸い上げ、公共空間を含めた民主導の持続可能な滞在空間の在り方について検証

連携企業等	役割
(株)読売巨人軍	全体調整、景品準備、設営・運営
(株)日テレイvents	放映権、映像引込
(株)よみうりランド	相互送客、広報PR
(株)ジェイティーエス	景品準備、設営・運営、イベント実施
(株)多摩テレビ	テレビ取材、実施レポート
多摩セントラルパークJV	相互送客、広報PR、設営
ココリア多摩センター	空間提供、景品準備、広報PR、スタッフリ-
多摩センター地区連絡協議会	設営、運営



パブリックビューイング IN 多摩センター

実施日：2024年9月19日（木曜日）18時～21時

場 所：パルテノン大通り南側植栽帯及びココリア多摩センター

参加者の感想（事後アンケート）

- 今回のようなパブリックビューイングを、家族がとても楽しみにしていたので、もっとやってくれともっと幸せになれそう。
- こういったパブリックビューイングの機会を増やしてほしい。また、有料でもいいので選手と直接触れ合うことのできるイベントもあるととても嬉しい。
- 夜間の多摩センターに欲しいものとしては、パブリックビューイングが出来る場所、キッチンカー、休憩できる机と椅子がある場所。また、大きな音を出す催しを定期的に開催してほしい。

検証及び展望

- 民間施設と公共空間との連携イベントとして実施し、各種調整に時間は要したが、当日の備品はプロジェクターやベンチ、テント等であり、大掛かりな手間を掛けずに簡易的に観客席を設えることができた。
- 参加者の感想からもパブリックビューイングのニーズが多いことがうかがえ、人気コンテンツにより多くの来場者に来てもらうことができた。
- 今後の展望としては、民間施設の活用に関する可能性が高く、民間施設の敷地内（写真参照）におけるテナント出店やキッチンカーの設置等によって低層部がオープン化され、賑わい創出と利益確保の双方が見込めると考えられる。



民間施設の敷地内の活用可能性

スコア（告知、誘客）

◆ 読売巨人軍公式X（10/9時点）

13.1万回表示／118リポスト／620いいね

<https://x.com/tokyogiants/status/1836403115689754781?s=46&t=tfedy75q62ORKwqZjBmwhw>

◆ スポーツ報知巨人取材班X（10/9時点）

6.9万回表示／56リポスト／340いいね

<https://hochi.news/articles/20240905-OHT1T51139.html>

◆ Yahoo!ニュース

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e1f3dbb69e62de6063ab3b5738f787066b8be286>

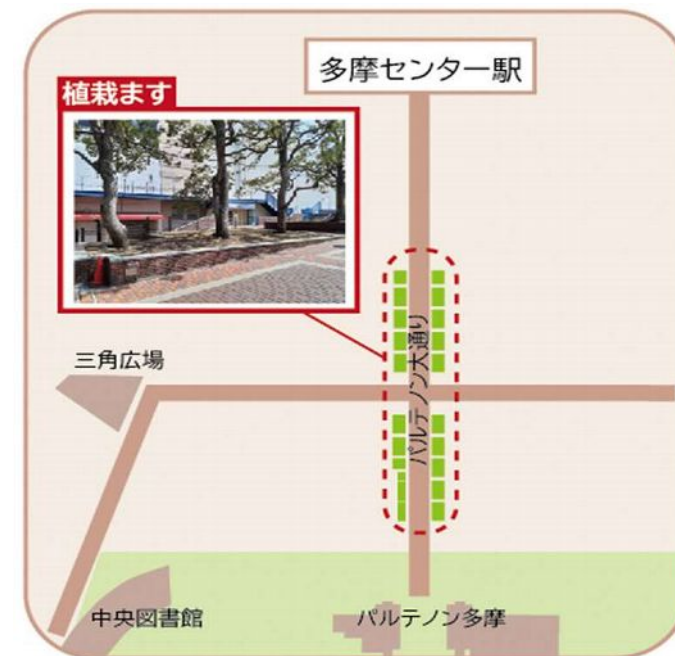
◆ ローカルメディア 多摩テレビ、たまぽん

◆ 協力商業施設入館数 120%～150%前年比（17:00～20:00）

※ アルコール類やおつまみ関連（惣菜）の売上が伸びた。

多摩センター まちづかい社会実験

実施日：2024年9月22日（日曜日）10時～18時
場 所：パルテノン大通り 植栽ます



テーマ

日常的なにぎわい創出

目的

多摩センターのペDESTリアンデッキにおいて、まちづかいの主体的な活動事例を検証し、主体的な活動により大規模なイベントだけでなく日常的に使われ、まちに賑わいが創出されるためのつかい手のニーズを把握し、都市再生整備計画の検討材料とする。

開催概要

市民の皆さんからアイデアを募集して、各種企画を検討した上で、パルテノン大通りにある植栽ますのスペースを活かした「あなたが考えるやりたいこと」を実行した。

<実施企画>

- 学生たちが考えたあおぞらフェス
- くつろぎ空間～ウッドデッキ～
- パパ友たちとやりたいこと！～屋台出店～
- あおぞらボードゲーム
- 多摩産野菜を使用したメニューによるキッチンカー



多摩センター まちづかい社会実験

実施日：2024年9月22日（日曜日）10時～18時
場 所：パルテノン大通り 植栽ます

参加者の感想

- 出店者として参加したが、前回よりお店も増えて、わいわいした雰囲気になった。
- 天気がまいちだったことと、今回のイベント告知があまり出来ていないこともありお客さんがあまりいなかった。
- 足場が不安定だったため、平らになるとより安心して運営ができると思う。また、欲を言えばもう少し広いテントだとありがたい。
- 多くの人が期待するワクワクに応えるイベントに参加でき、多くの方々に足を止めていただき、会話を交わして【美味しい】を提供させていただけたことに感謝。

検証及び展望

- パルテノン大通りの植栽ますの活用については、警察への道路使用許可を要せず、道路管理者への道路占用許可のみとなり、行政内部の手続きのみとなる。そのため比較容易な手続きにより、「植ます」の空間が市民の皆さんのやりたいことができる「舞台」となり、また市民の皆さんが憩える「居場所」となることが検証できた。
- 植ますを平らにして広々とした空間にすることが求められていることから、今後はデッキを複数の植ますに設けて空間を整えて、様々な検証を行うことが考えられる。
- 今回はアイデア募集から企画検討までを多摩ラボワークショップにおいて検討して、各種調整を行ったが、今後は市民自らがスムーズに進められるような仕組みや窓口が必要になると考えられる。

取組成果

多摩センタープロジェクションマッピング

実施日：2025年2月6日（木曜日）～2月16日（日曜日）17時30分～20時30分

場所：パルテノン大通り南側植栽帯及びココリア多摩センター

テーマ 民間施設・公共空間が連携した夜間の賑わい活性化

目的 民間・公共空間が一体的となった日常利用に向けた取組事例を創出し、夜間の賑わい創出に向けて、公共空間を含めた民間主導の持続可能な滞在空間の在り方を検証する。

開催概要 パルテノン大通り植栽帯の樹木及びペDESTリアンデッキ床面において、多摩ニュータウン開発以前の自然豊かな多摩地域を想起させるような「自然」と生命の息吹をテーマとした、プロジェクションマッピングを行い、多摩センターの民地と公共空間の一体的なつかり方や夜間の賑わい創出、オープン化について検証した。

共催 UR都市機構、新都市センター開発、多摩市

関連企業 にぎわい総研、ゆぎ書房、(株)多摩テレビ、ココリア多摩センター



まちづかい社会実験

多摩センター

プロジェクションマッピング

光と影の音楽隊が織りなす、笑顔あふれる生命のファンタジーへようこそ！

アンケートにご協力ください！

二次元コードから！

観覧期間 2/6～2/23

アイランドのかいぶつもやってくる！

「かいぶつ」とは？

アイランド絵本に出てくる「かいぶつ」たちも登場。北風の豊かな自然の中で、人間のすぐ近くに暮らしていたとされる不思議な存在です。

「まちづかい社会実験」これまでの活動はこちら

◎夜もたのしめるまちへのチャレンジ

多摩センターでも楽しめるようプロジェクションマッピングをパルテノン大通り十字路で、UR都市機構・新都市センター開発・多摩市が協力し「まちづかい社会実験」として実施します。多摩市と親交のあるアイランドにちなんだ映像も。ぜひお越しください！

2025年

2月6日(木)～2月16日(日)

●17:30上映開始～20:30最終上映開始 1日10回開催(20分間隔)

プロジェクションマッピング上映時間:約6分

共催 UR都市機構 新都市センター開発株式会社 多摩市

プロジェクションマッピング上映場所

東玉・小田急多摩センター駅

パルテノン大通り十字路付近

北の上アサ

ココリア

パルテノン多摩

多摩中央公園

取組成果

多摩センタープロジェクションマッピング

実施日：2025年2月6日（木曜日）～2月16日（日曜日）17時30分～20時30分

場 所：パルテノン大通り南側植栽帯及びココリア多摩センター

検証及び展望

- パルテノン大通りペDESTリアンデッキ上で、夜間に楽しめるコンテンツを提供することで、周辺施設や催しに対しての経済波及効果を検証する。
- 効果検証にあたっては、人流データを活用した滞在人口分析及び、周辺施設からの売上傾向（定性分析）を実施する。
- まちづくり推進に関する包括連携協定を締結しているUR都市機構、新都市センター開発㈱から「プロジェクションマッピング」の提案あり、市ではナイトタイムなどの賑わいづくりに「まちづかい社会実験」として取り組んでいることから協力して実施している。
- 今後の多摩センターに求められる機能や、公共空間の活用検証については、市からだけでなく、民間事業者からの発意によって、まちづかい社会実験が行われる結果となった。



ナイトマーケット（イメージ）

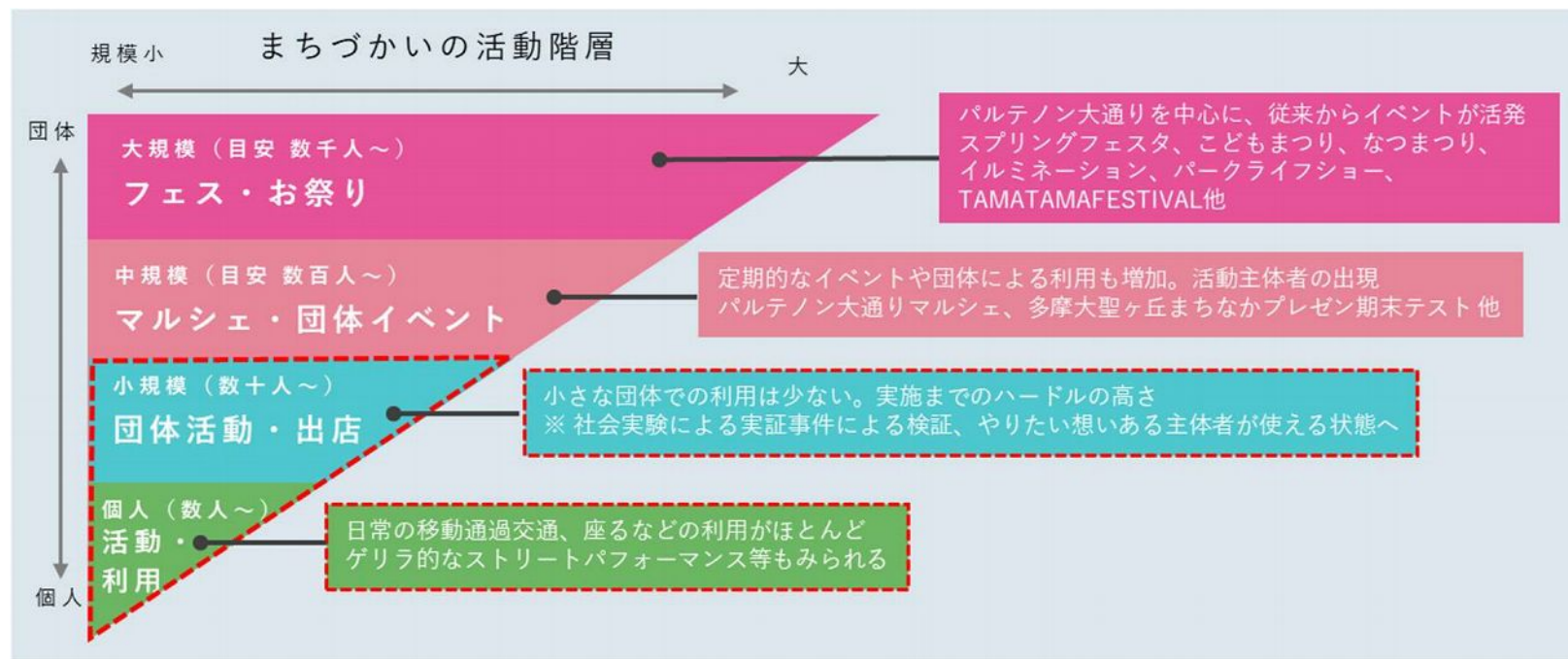
日付：2月8日（土）・9日（日）・15日（土）・16日（日）
時間：10時00分から20時00分（予定）



プロジェクションマッピング（イメージ）

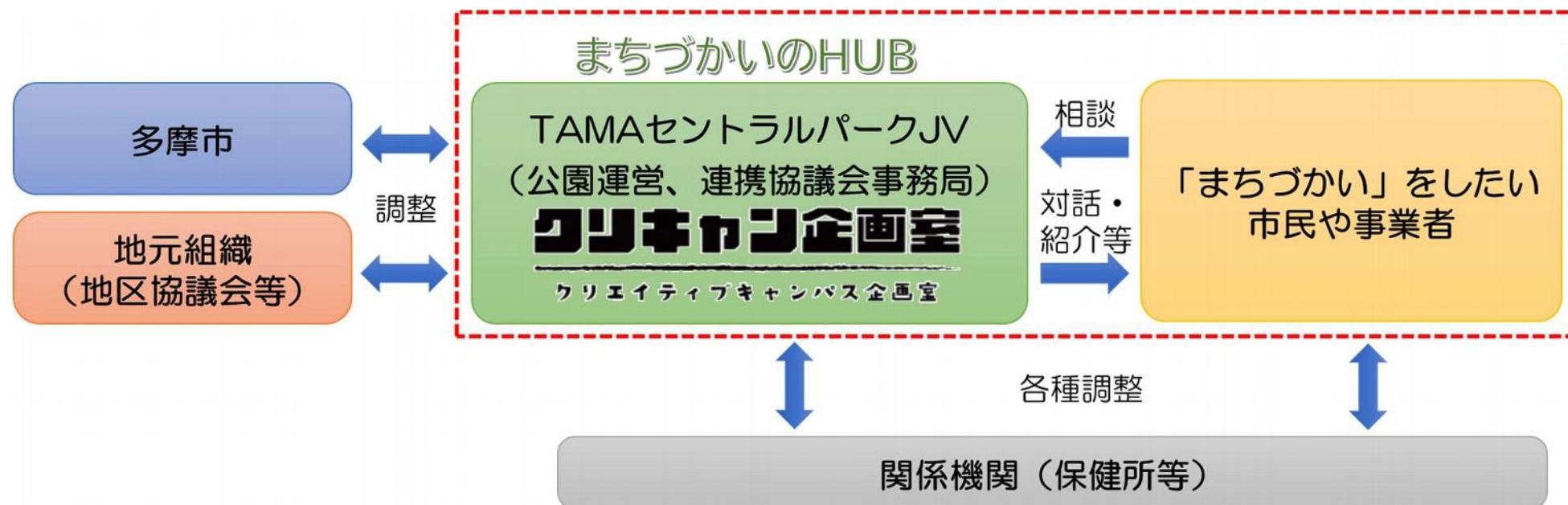
日付：2月6日（木）～2月16日（日）
時間：17時30分上映開始～20時30分最終上映開始
※1日10回開催（20分間隔）
※1回上映時間：約6分

今後の予定 ① 多摩センターまちづかい手引書の作成



各主体者のセグメンテーションとリーディングプロジェクトの実践事例を整理し、「まちづかい手引書」を作成する。

今後の予定 ②多摩センターまちづかいのHUB機能の継続



「まちづかい手引書」を活用しながら、今後も様々な地域の主体者が多摩センターを活用し、「まちづくり」に反映する取組を継続実施する。